

いしのまき

災害臨時号 第5号

平成23年5月17日発行



復興に、希望の笑顔

5月5日(木・祝)子どもの日に、石ノ森萬画館で“がんばろう！石巻「春のマンガッタン祭り」”が開催され、子どもたちの元気な姿と希望の笑顔が見られました。



◆◆◆主な内容◆◆◆

市長あいさつ	P2
被災証明書、り災証明書	P3
災害障害見舞金・災害義援金	P4
生活支援	P5
応急仮設住宅	P6
民間賃貸住宅の応急仮設住宅扱い	P7
各種相談	P8

東日本大震災被災状況(5月8日現在)

死者	2,961人	行方不明	2,770人
避難者数	8,907人	避難所数	107カ所

参考(平成23年2月末現在)

人口162,822人 世帯 60,928世帯

市民の皆様さまへ

この度の東日本大震災で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。このような無残な姿で春を迎えるとはだれが想像できたでしょうか。私たちは、震災によりすべてのものを失いましたが、みんなが大好きなふるさと石巻を思う心は失ってはいません。

津波の恐ろしさと被害の爪痕におののき、震える被災者に手を差し伸べ寄りそう人々に感謝しながら、今を超える勇気と復興への一歩を踏み出したいと思えます。

現在、市民の生活の安定を最優先に、がれきの撤去や汚泥の除去など自衛隊の方々と石巻災害復興支援協議会のボランティアの皆さまと連携しながら、ふるさと石巻の復旧に全力をあげて取り組んでいます。

また、水産業界を含め多くの企業が甚大な被害を受けましたが、水産業界の再建復興宣言や石巻港の早期復興に向けた団結式など、多くの企業が石巻での再建を誓い懸命の復旧活動に取り組んでいます。近い将来、石巻に雇用の場が戻り、みんなが大好きな石巻に若者が住み続けるまちが再現できるものと思えます。

「取り戻そう、ふるさと石巻」をスローガンに、石巻の再建を誓い、勇気を持って、この災害を乗り越えていきましょう。

石巻市長 亀山 紘

石巻市震災復興基本計画策定に関してご提案を募集します

この度の震災により、本市の沿岸部を中心に甚大な被害を受けました。

現在、市ではがれき撤去や仮設住宅の建設をはじめ、各種の応急復旧作業に取り組んでいます。

それと同時に、被害を受けた施設の機能回復や新たな社会資本整備を行う必要があります。「石巻市震災復興基本計画」の策定に取り掛かったところであります。

つきましては、次の3つの考え方を「基本理念」として計画策定したいと考えていますので、皆さまから事業のアイデアなどのご提案をお寄せいただきますようお願いいたします。

【基本理念】

基本理念1 災害に強いまちづくり

全市民の約8割が被災し、電気、水道などのライフラインの寸断を引き起こした今回の震災の教訓を踏まえ、単なる「復旧」にとどまらず、防災基準・防災体制を抜本的に見直した市民の命を守る災害に強いまちを念頭に、新たな視点での都市デザインを描いたまちを構築するとともに、ライフラインの補完や快適な生活空間として新エネルギーを活かしたまちづくりを目指します。

基本理念2 産業・経済の再生

基幹産業である紙・パルプ製造業、飼肥料製造業、合板製造業および食を支える重要産業である農林水産業などが壊滅的な被害を受けた中、今後の産業の連携・融合も含めた在り方を検討し、再建・復興を促進するとともに、地域資源を活かした産業振興基盤づくりを図ります。

基本理念3 絆と協働による共鳴社会の構築

人と人との結びつき「絆」を大切にするとともに、市、企業、地域が総力を結集し、新たなまちづくりに向かって「共鳴」しながら、豊かで支え合う地域社会の構築を図ります。

※お寄せいただいたご提案につきましては、今後策定する基本計画の参考とさせていただきます。

なお、ご提案に対しての回答はしませんのでご了承願います。

募集期間 5月16日(月)～6月30日(木)

提出方法 ご提案は任意の様式により、住所、氏名、電話番号を明記の上、郵便またはEメールで提出してください。

提出先 〒986-8501 石巻市穀町14番1号 石巻市復興対策室
Eメール reconst@city.ishinomaki.lg.jp

☎ 復興対策室 (内線 4041・4042・4043・4044・4214)